



サイクス (S I C S) は、産業情報支援センターの運営組織である、(株)西条産業情報支援センターの愛称です。

今回は、宇宙航空研究開発機構 (J A X A) の小惑星探査機「はやぶさ」の帰還で脚光を浴びる地元企業などを紹介します。

もっと詳しく知りたい方は…

○産業情報支援センター

TEL0897-53-0010 FAX0897-53-0011

Eメール info@saijo-sics.co.jp

サイクスのホームページもご覧ください。

http://www.saijo-sics.co.jp/

太陽系誕生の謎を探るミッシェンで

西条発の確かな技術が光を放つ!

有限会社 高橋工業 (丹原町池田)

去る6月13日に小惑星探査機「はやぶさ」が、約7年間にも及ぶ任務を終えて地球に帰還しました。小惑星表面のサンプル採取という大きなミッションに、高い技術力を認められた市内企業が、部品製造という形で参加しました。今回は、その有限会社高橋工業を訪ね、ものづくりに懸ける思いをお聞きしました。

「最初は宇宙のごみを採取すると聞いていました」と、高橋信専務は当時を振り返ります。

「はやぶさ」の部品製造時に求められた非常に困難な加工に際しては、工作機械の上にセッとした鏡を見ながら作業を行うという、誰も思いつかないような工法で製品を完成させたそうです。それ以降も他社が断るような製品加工を、「できないと言われればやりたくなる」というチャレンジ精神と、経験で培った技術力によって、すべて完成させてきたとのことでした。



▲従業員と意見交換する高橋専務 (左)

(技術相談室チーフアドバイザー 林)

「この積み重ねが次の技術力となり、会社の財産になる」と話す高橋専務には、お子さんがまだ小さかったころ、家に帰れず工場の車中で寝泊りした思い出もあるそうです。

有限会社高橋工業は、現在も純ニッケルをはじめ、難削材の加工や中国市場を見据えた取り組みなどの挑戦を続けています。

「はやぶさ」が幾多の苦難を乗り越えて宇宙から帰還したように、厳しい時代を生き抜く企業の推進力を見ることができました。

新しい目標の発見は、がんばろうのスタート!

うちぬき創造塾 2010

参加者募集

今年も地域の高校生を対象に、自らの夢を考える「うちぬき創造塾」を開催します。

自己分析や地域の仕事人訪問などを行うことは、未来の自分を描くうえできつと役立つはずです。

今回は、昨年の「うちぬき創造塾」に参加した、愛媛大学農学部1回生の日野明菜さんに話をお聞きしました。



▲将来について考える日野さん (右)

でいるのなら、この「うちぬき創造塾」への参加をお勧めします。

■**食文化の伝統を継承したい**
私の現在の夢は、農業高校の実習の先生になることです。また、実家の農業を継いで七草の栽培に関わり、地元の食文化を守り継承していく農業人として、活躍していきたいと考えています。

■**自分を見つめ直すチャンス**
私はまだ進路に悩んでいた時期に「うちぬき創造塾」に参加して、自分自身について知ることができました。また、地元で熱い思いをもって働く仕事人のお話を聞くことで、将来の目標を見つけることができました。進路に悩ん

- 対象** 高校2・3年生
- 日時** (2泊3日)
8月16日(月)～18日(水)
- 場所** うちぬき会館ほか
- 定員** 15人
- ※申込者が多数の場合は抽選で参加者を決定します。
- 参加費**
2千円(バーベキュー代として、当日集金します)
- 申込先**
市庁舎本館商工労政課
労政雇用係
- TEL 0897-5211482